

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221322062	栄養教育論 I Nutrition Education theory I	田中優成		専門	2	必修	2後期

科目の概要

管理栄養学科の「ディプロマポリシーDP1、DP2、DP3」を栄養教育を通して習得する。DP1は栄養教育の対象者に建学の精神、社会人基礎基礎力、pisa型学力を活用して実践する方法を習得する。DP2は管理栄養士に必要な疾病・疾病予防・食育に関する専門知識・技能を身に付け、豊かな食生活と健康を創造する力を習得する。DP3は、常に自己研鑽する習慣を習得する。この科目は栄養教育の意義と目的に応じた理論と技能及び社会・生活環境や健康・栄養状態の特徴に基づいた栄養教育について以下の2項目を基本に習得する。

- (1) 対象者の行動変容を促す理論とモデルおよび栄養カウンセリング、食行動技法等
(2) 栄養マネジメントで用いる理論・モデル、健康・食物摂取へのアセスメント、栄養教育プログラムの立案・実施・評価方法等

学修内容	到達目標
① 栄養教育のための食行動科学の理論とモデル、カウンセリング技法、行動変容技法を理解する。 ② 栄養教育を効率的に進める組織・地域づくりの展開・食環境づくりを理解する。 ③ 栄養教育マネジメントを理解する。 ④ 栄養教育プログラムの作成・実施・評価法を理解する。	① 課題を抱える対象者に行動科学の理論とモデル、栄養カウンセリング技法、行動変容技法を活用することができる。 ② 課題を抱える 地域へセルフヘルプグループ、グループダイナミクス等を活用して課題解決案を提案することができる。 ③ 対象者の健康・食物摂取に影響を及ぼす要因をアセスメントより、課題解決への栄養教育マネジメントを計画することができる。 ④ 対象者の課題を解決する栄養教育プログラム作成・実施・評価法を立案することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	PCRシートに基づき、自ら予習し自発的に授業へ取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	主体性を発揮した結果として①PCRシートは適切な内容で記述されていること、②実施する「確認テスト」より6割の点数がとれることが、実行力を発揮していることです。
考え抜く力	課題発見力	授業内で理解できなかった自己の課題を発見し、「PCRシート課題発見」に自己の課題と課題解決の学修内容を明確に記述できる
	計画力	
	創造力	修得した知識・技能を最大限に活用して従来の常識や発想を転換し、新しい解決策を想起することができる。
チームで働く力	発信力	他者が見てもわかりやすく、理解してもらえるように、図表や表現を工夫してPCRシート内の授業ノートをまとめることができる。
	傾聴力	他者とのディスカッションの中で、自分とは異なる新たな視点として受け入れることができ、それに対して返答をすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	授業内で決めたルールを遵守することができる
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

健康・栄養科学シリーズ 栄養教育論 改訂第5版 編集 武見ゆかり他 監修 医薬基盤・健康・栄養研究所

他科目との関連、資格との関連

【他科目との関連】
管理栄養士への道 健康管理概論 解剖生理学Ⅰ・Ⅱ 生化学Ⅰ・Ⅱ 食品学Ⅰ・Ⅱ 基礎栄養学Ⅰ・Ⅱ 食事摂取基準論 栄養管理プロセス論
応用栄養学Ⅰ・Ⅱ 公衆栄養学Ⅰ・Ⅱ 公衆栄養学実習 臨床栄養学Ⅱ・Ⅲ 臨床栄養学実習

【資格との関連】
管理栄養士 栄養士 栄養教諭

学修上の助言	受講生とのルール
生理学、食品学、栄養学の基礎知識を基盤として、対象者の食行動を起因とした疾病への予防・改善を目的に栄養教育します。したがって、上記に挙げたようなこれまでに学修した内容をしっかり復習してから履修しましょう。	他者との話し合いの際にはしっかりと自分の意見を発信しながら他者の意見を聴き、自分ひとりで解決できないことは他者に頼りましょう。また、提出物は期日を必ず守りましょう。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓			○×問題、正誤改変問題、記述問題、国家試験の過去問に基づき出題する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
	平常評価	小テスト	20	①	✓			全2回の小テストを下記の範囲から出題する。（全2回×各10点＝20点満点） ①行動科学の理論とモデル ②行動変容技法、栄養カウンセリング技法
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
		レポート	10	①	✓			教科書の内容に基づいた問題を事前に予習として出題し、全13回×各10点＝130点満点を10点満点に換算した点数とする。 なお、授業時間までに提出できなかったものは正誤に関わらず無条件で－3点し、7点満点で評価する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
				②				
				③				
				④				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			ルーブリックで評価。各能力レベルは4点を満点として配点。 （主体性）自発的に予習に取り組むことができる （実行力）粘り強く取り組むことができる （課題発見力）情報収集や分析をして、課題を明らかにすることができる （創造力）PCRシートに新しい解決策を想起することができる （発信力）PCRシートの図表や表現を工夫することができる （傾聴力）授業内容・学生間のディスカッション時にしっかりと発言し、意見を聴き入れることができる （規律性）PCRシートを期限内に提出することができる	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
栄養教育を行うための理論や技法を十分に理解して獲得したうえで、栄養教育プログラムの立案に活用して対象者の課題を解決する具体的な目標や評価の方法を提案することができ、且つ学修成果及び学修行動の得点率が90%以上をS、80%以上をAとする。	栄養教育を行うための理論や技法を十分に理解して獲得したうえで、栄養教育プログラムの立案に活用することができ、且つ学修成果及び学修行動の得点率が70%以上をB、60%以上をCとする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	「オリエンテーション」 授業の運営、目標、評価方法等を理解し、栄養教育の概念と行動科学を学修する。	講義 Google Classroom ペア・グループワーク	本授業の意義と目的を理解でき、栄養教育とは何かを説明することができる	予習：自身が思う栄養教育とは何かを自分の考えをまとめる 復習：講義を受け、栄養教育とは何かを説明することができるように自身の考えとの相違点も含めて考察する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	「行動科学の理論とモデル①」 刺激－反応理論、ヘルスビリーフモデルについて学修し、その活用事例を考える	講義 Google Forms ペア・グループワーク ディスカッション	刺激－反応理論、ヘルスビリーフモデルについて説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p. 17～p. 24 復習：PCRシートの復習を実施	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	「行動科学の理論とモデル②」 計画的行動理論、トランスセオレティカルモデル、社会的認知理論、ソーシャルサポート、自己効力感について学修し、その活用事例を考える	講義 Google Forms ペア・グループワーク ディスカッション	計画的行動理論、トランスセオレティカルモデル、社会的認知理論、ソーシャルサポート、自己効力感について説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p. 24～p. 29 復習：PCRシートの復習を実施	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	「行動科学の理論とモデル③」 コミュニティオーガニゼーション、エンパワメント、ヘルスリテラシー、ソーシャルキャピタル、イノベーション普及理論について学修し、その活用事例を考える	講義 Google Forms ペア・グループワーク ディスカッション	コミュニティオーガニゼーション、エンパワメント、ヘルスリテラシー、ソーシャルキャピタル、イノベーション普及理論について説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p. 29～p. 35 復習：PCRシートの復習を実施	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	「小テストA：行動科学の理論とモデル」 「栄養カウンセリング①」 栄養カウンセリングとは何か、栄養カウンセリング技法について学修する	小テストA フィードバック（行動科学の理論とモデルの復習） 講義 Google Forms ペア・グループワーク ディスカッション	栄養カウンセリングとは何か、栄養カウンセリング技法について説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p. 37～p. 53 復習：PCRシートの復習を実施	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	「栄養カウンセリング②」 認知行動療法と面接の実際についてに学修する	講義 Google Forms ペア・グループワーク ディスカッション	認知行動療法と動機づけ面接、初回面接と継続面接について説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p. 53～p. 63 復習：PCRシートの復習を実施	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	「行動変容技法①」 行動変容のための技法について学修し、その活用事例を考える	講義 Google Forms ペア・グループワーク ディスカッション	それぞれの行動変容技法について、その意味と活用例について説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p. 65～p. 77 復習：PCRシートの復習を実施	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	「小テストB：栄養カウンセリング・行動変容技法」 「栄養教育マネジメント①」 PDCAサイクルについて学修し、その活用事例を考える	小テストB フィードバック（栄養カウンセリング・行動変容技法の復習） 講義 Google Forms ペア・グループワーク ディスカッション	PDCAサイクルについて説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p. 79～p. 87 復習：PCRシートの復習を実施	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	「栄養教育マネジメント②」 プリシード・プロシードモデル、ソーシャルマーケティングについて学修し、その活用事例を考える	講義 Google Forms ペア・グループワーク ディスカッション	プリシード・プロシードモデル、ソーシャルマーケティングについて説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p. 87～p. 92 復習：PCRシートの復習を実施	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「栄養教育のためのアセスメント①」 情報収集の方法とアセスメントの種類について学修し、実際の食行動質問票を検討する	講義 Google Forms ペア・グループワーク ディスカッション	どのような質問票が適切かを考え、実際に作成することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p. 95～p. 101 復習：PCRシートの復習を実施	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「栄養教育のためのアセスメント②」 質問票で収集した情報から判定する方法を学修し、実践例を考える	講義 Google Forms ペア・グループワーク ディスカッション	適切にふるい分けをして判定することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p. 101～p. 103 復習：PCRシートの復習を実施	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	「栄養教育の目標設定と計画立案①」 栄養教育プログラムの目標設定と計画立案の方法について学修し、実践例を考える	講義 Google Forms ペア・グループワーク ディスカッション	栄養教育プログラムの目標設定と計画立案の方法について説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p. 105～p. 114 復習：PCRシートの復習を実施	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	「栄養教育の目標設定と計画立案②」 学習形態の種類と方法、栄養教育で用いる教材について学修し、その活用事例を考える	講義 Google Forms ペア・グループワーク ディスカッション	それぞれの学習形態と教材についての特徴を説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p. 115～p. 128 復習：PCRシートの復習を実施	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	「栄養教育の実施と評価」 モニタリングの方法、評価の種類と方法を学修し、その活用事例を考える	講義 Google Forms ペア・グループワーク ディスカッション	それぞれの評価について説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p. 134～p. 146 復習：PCRシートの復習を実施	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	「到達目標の確認とまとめ」 栄養教育に用いる技法や栄養教育マネジメントを復習し、栄養教育一連の流れを理解する	講義 ペア・グループワーク ディスカッション	学修の到達目標①～④について、振り返りができる	予習：これまでで理解が不十分な箇所をまとめておく 復習：到達目標の学修内容を復習	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力